

大雨や台風による災害に備えましょう



写真：右上 平成3年9月 旧大宮市
左上 平成3年9月 朝霞市
下 平成20年8月 入間市



写真提供：埼玉県土整備部 河川砂防課

これから梅雨や台風の季節に入り、大雨や暴風雨などによる災害が起こりやすくなります。また近年、局地的に短時間で多量の雨が降る「ゲリラ豪雨」による被害も各地で頻繁に発生しています。大雨や台風による災害から身を守り、被害を少なくするために、災害への備えを確認しておきましょう。

◆危機管理室 内線333

メール配信サービス「メルくま」

メール配信サービス「メルくま」は、お手持ちの携帯電話やパソコンに事前登録することで、「防災行政無線」や「気象・地震情報」などの災害情報をお届けする便利なサービスです。いざというときに役立ちますので、ぜひご利用ください。

登録方法 市ホームページや携帯用登録ページ(下記コードをご利用ください)のほか、熊谷市くらしのテレホンガイド39ページをご覧ください。

◆広報広聴課 内線2006



防災行政無線が聞き取りにくいときは

気象条件などの理由により、防災行政無線が聞き取りにくいときは、次のサービスで放送内容を確認できます。

熊谷くらしのテレホンガイド
利用方法 ☎048-520-3333に電話して、音声ガイドに従って、909をプッシュ(またはダイヤル)してください。詳しくは、くらしのテレホンガイド26、27ページをご覧ください。



近年の主な大雨災害

平成22年10月18日～21日
奄美地方で前線による大雨

所により期間降水量が800ミリを超える記録的な大雨となり、鹿児島県内で死者3人となったほか、奄美地方では、浸水害や土砂災害が多数発生した。

平成22年7月10日～16日
西日本から東日本にかけて梅雨前線による大雨

本州付近に停滞した梅雨前線の活動が活発となり、西日本から東日本にかけて非常に激しい雨が降った。死者・行方不明者が14人となったほか、九州北部、中国、東海などを中心に各地で浸水害や土砂災害が発生した。

平成21年10月6日～9日
台風第18号による暴風・大雨

非常に強い勢力の台風18号により、沖縄地方から北海道地方にかけての広い範囲で暴風雨となり、関東地方では竜巻も発生した。和歌山県、埼玉県および宮城県で死者5人となったほか、沖縄地方から北海道地方の広い範囲で住家損壊、土砂災害、浸水害等が発生した。

平成21年8月8日～11日
熱帯低気圧・台風第9号による大雨

九州地方から東北地方の広い範囲に大雨をもたらした。徳島県、岡山県、兵庫県、長野県で死者14人、行方不明者16人となった。また、岡山県、兵庫県、埼玉県など西日本から東日本の広い範囲で住家の浸水が約4,400棟となるなど各地で浸水害や土砂災害が発生した。

気象庁ホームページより

日ごろからの備え

自宅周辺の危険場所などの点検を

家の周りに風で飛ばされそうなものはないか、屋根の瓦やトタン、窓や雨戸などは傷んでいないか点検し、必要に応じて補修しておきましょう。

雨どいや敷地内の排水口のつまりを取り除き、水はけをよくしておきましょう。また、側溝や水路の清掃にもご協力をお願いいたします。



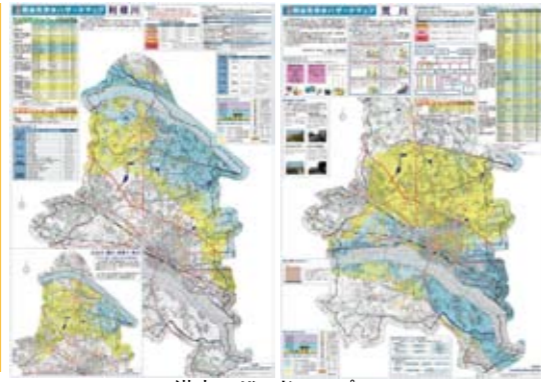
避難所や非常持出品の確認を

危険が迫ったときの避難に備え、あらかじめ地域の避難所までの経路や非常持出品(飲料水・食料・懐中電灯・携帯ラジオ・衣類など)を確認しておきましょう。



避難所の確認 洪水ハザードマップを始め、くらしのカレンダーや市ホームページなどでご確認ください。

洪水ハザードマップは、平成20年4月に市内全戸配布しました。お持ちでない場合は、市民課(市役所1階)、危機管理室(4階)または各行政センター・市民福祉(環境)課にあります。



洪水ハザードマップ

台風の接近時や大雨が降りだした時の備え

最新の気象情報に注意しましょう

台風の影響が予測される場合や大雨などにより被害が発生するおそれがあるときは、台風情報や注



災害発生時の危険が迫ってきたら

市では、被害の発生が予測される地域の皆さんに、防災行政無線、広報車、テレビ・ラジオ、自主防災組織や自治会などを通して「避難勧告」や「避難指示」を行います。避難の際には、ご近所のお年寄りや手助けが必要な方に声をかけ、あわてずに協力して避難しましょう。



所在地 鴻巣市袋 30番地
電話 048-549-2313
開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
入館料 無料
休館日 月曜日(祝日・県民の日は開館し、翌日が休館)、年末年始(12月29日～1月3日)、その他館内点検のための臨時休館日
交通アクセス 駐車場あり(15台)。電車利用の場合は、JR高崎線北鴻巣駅から徒歩20分、吹上駅から徒歩25分

防災について 埼玉県防災学習センター

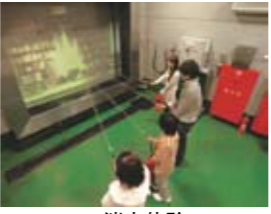
埼玉県防災学習センターは、災害に強い地域づくりのため、災害時の対処方法を楽しく学習できる施設です。万一の災害に備え、家族みんなで防災についての知識を身につけましょう。

暴風雨体験 最大風速で毎秒30mの暴風や暴風雨を体験することで、台風の迫力を実感できます。※通常は暴風のみ体験です。



暴風雨体験

地震体験 過去に起きた大地震の揺れを体験することで、地震のおそろしさと、地震が発生したときの行動を学習できます。



消火体験

消火体験 訓練用の消火器を使って、火災が発生した時の消火の使い方と効果的な消火の方法を学習できます。

煙体験 煙が充満した迷路のような空間を避難する体験を通して、火災が起きて煙が発生したときの避難の方法を学習できます。

江戸時代以前の荒川の河川改修は小規模なもので、荒川の流れそのものに手をつけることはなかったようです。1590年(天正18年)、徳川家康が江戸に入城、伊奈忠次を関東郡代に任じ、関東周辺の河川改修工事にあたらせました。家康は河川の付け替えをすることで治水事業を進めるとともに、船による物資輸送の体系をも整備しようとしたのでした。1629年(寛永6年)徳川家光の時代に、伊奈忠治により荒川から利根川を分



「新川」を開削して和田吉野川へと繋ぎ、入間川へ通すというものでした。これが、現在も大筋で「荒川」の流路となっています。

江戸時代の瀬替工事は洪水被害を防ぐとともに、新田を開くことも目的の一つでした。中流部では、荒川につくられた堰から、用水路に水を引き、新田を開きました。それまでは、氾濫原であったため、土地が肥えており、豊作地帯となつて、地域の経済を安定させました。1597年(慶長2年)に現在の熊谷市と深谷市の境界付近で荒川を堰き止め、「奈良堰」がつくられました。その後、十数年で約5kmの間に「玉井堰」、「大麻生堰」、「成田堰」、「御正堰」、「吉見堰」がつくられました。この六つの用水の総称が「大里用水」と言われています。その後、現代に至り、1939年(昭和14年)に旧花園町と旧川本町の境界近くに、六つの堰を統合した「六堰頭首工」がつくられました。

市報クイズ4月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット
テーマ
あなたが心がけているエコ・環境生活

今回は、身近なことからできるエコ・環境生活を紹介していただきましたが、皆さんのエコ意識の高さをうかがえました。節電、環境への配慮が一段と注目される昨今ですので、早速取り組んでみてはいかがでしょうか。 ※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています ▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 必ずエコバッグを持参します。そして水筒も持参。食材は無駄なく使い、なるべく徒歩か自転車でお出かけします。(30代・女性)
- 携帯電話の充電器は、さしっぱなしにしない、水も出さずっぱなしにしないことです。(50代・女性)
- 通勤には自動車を使わずに、自転車を使っています。環境にもやさしく経済的にも助かっています。(40代・男性)
- 夜、部屋の電気は消して、昼に外で充電しておいたソーラーランプを使っています。けっこう明るいですよ。(40代・女性)
- ごく当たり前のことですが、ゴミの分別を心がけています。それから油がついている食器や鍋等は新聞紙でふき取ってから洗っています。(70代・女性)

母なる川 荒川と熊谷市

シリーズ荒川・利根川 第2回

江戸時代の河川改修 「荒川の西遷」

江戸時代以前の荒川の流路は、今とは異なるものでした。徳川幕府による大改修を経て今の流路の基礎が造られ、その後、水運を支える貴重な交通路として活躍しました。

荒川の歴史 江戸時代まで

離する瀬替工事(河川を付け替える工事)が行われました。後世「荒川の西遷」と呼ばれる河川改修です。

六つの堰からなる 「大里用水」

江戸時代の瀬替工事は洪水被害を防ぐとともに、新田を開くことも目的の一つでした。中流部では、荒川につくられた堰から、用水路に水を引き、新田を開きました。それまでは、氾濫原であったため、土地が肥えており、豊作地帯となつて、地域の経済を安定させました。

物資を運ぶ交通路



現在の「六堰頭首工」

鉄道や自動車のなかった江戸時代、大量に物資を運んだのは船で、荒川の舟運はこの時代に発達しました。物資の積み降ろし場所である「河岸」が発達し、水量が豊富で、流れがゆるやかだった下久下から下流には、江戸(浅草)まで、二十数か所の河岸があり、舟運が盛んに行われてきました。

新緑の中でのゲームに、子どもたちは大興奮

4月29日に、熊谷さくら運動公園で、熊谷市青少年相談員協議会主催のポイントゲーム大会が開催されました。園内に隠された30のポイントを見つけるため、子どもたちが新緑の中を駆け抜けました。



根岸家長屋門で、春の恒例イベントを開催

4月30日、根岸家長屋門を会場に、友山まつりが開催されました。大正琴の演奏や恒例の竹の子祭りなどが行われ、大いに盛り上がりしました。



「オール熊谷」で、避難者の自立を支援します

5月10日、官民が連携し東日本大震災の被災者の自立を支援するための組織「東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク」の設立総会が、江南行政センターで開催されました。



陸上公認記録会に、地元中高生も多数参加

4月29日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で、陸上競技長距離種目の公認記録会「第8回チャレンジ・ミートゥinくまがや」が開催され、熊谷市の中高生も多数参加しました。



グライダーを通じた、暖かいふれあい

5月5日、熊谷市に一時避難されている方々とめぬまグライダークラブや妻沼小島地区の皆さんとの交流が行われました。体験搭乗や模型グライダーづくりなどを通じ、楽しい1日を過ごしていただきました。



かわいさ満点！ 例大祭の稚児行列

4月18日・19日に、妻沼聖天山春季例大祭が行われました。稚児行列では、鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちが、商店街や境内を進みまわりました。

Photo News
フォト
ニュース

応募方法
ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「夏を乗りきる我が家のスタミナ料理」についてのコメントを必ず記入のうえ、6月24日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。 ※コメントがないものは無効となります。

《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

4月号の正解
①意識 ②少年
◆応募総数57通中、正解50通

今月のテーマ「夏を乗りきる我が家のスタミナ料理」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月の問題
次の□に入ることを、それぞれお答えください。
①第95回日本陸上競技選手権大会を熊谷□公園で開催します。
②6月18日(土)に中央公園で□ナイトinくまがやが開催されます。

今月のプレゼント
御菓子司 花扇ご提供の、練切菓子の4種詰合せを、正解者の中から抽選で10人に差し上げます。
御菓子司 花扇 所在地:中西3-15-15 電話:048-526-0121

読んで
当てよう
市報クイズ



「くまびよ隊」の皆さん(最後列右端が笠松さん)

「くまびよ隊」は子育てで真つ
最中のママさんたちによるブ

ママさんバンド結成

情熱世代 夢追い人

ブラスバンドで自分もみんなも元気に

ママさんブラスバンド「くまびよ隊」
隊長 笠松典子さん(船木台)

ラスバンドです。

私は中学から吹奏楽部に入
り、社会人になってからも楽器を
続けていました。学生の吹奏
楽人口は女性が多いのです
が、女性は結婚・出産を機に
吹奏楽を離れ、子育てに専念
する方がほとんどでした。結
婚して子どもが生まれて、家
では気軽に演奏できない、ま
た子育ての悩みなど抱えてい
たり、友人と疎遠になったり、
そんなつらいときにみんな
演奏できたなら、と思いいん
ターネットなども使って声
をかけてみたところ、あつとい
う間に20人集まり、今では60
人の大所帯になりました。

くまびよ隊のルール

子育てとの両立が第一目標
ですから家族に迷惑をかけな
いよう、月3回、日中に練習
しています。もちろん子ども
が家にいる人は子連れOK。
練習時間は短時間集中でやっ
ていますが、音楽を楽しんで
いる子、友だち同士で遊んで
いる子、もちろんグズってし
まう子もいます。そんな時は
練習の手を休めて子どもの相
手をしつづけるのがルールです。
隊には、子育てで真つ最中の
お母さんを中心に、子どもが
大きくなつた先輩母さん、ま
だ子どものいない若い女性な
どいろいろないない若いがいま
す。もちろん子育てをしながら
仕事をしているお母さん
もいますので、月1回は土曜日
にも練習しています。自分に
あつた時間で参加できるとき



トロンボーンを吹く笠松さん(中央)

に無理なく参加できるような
活動をしています。
最近では様々なイベントに
呼んでもらうなど、皆さんに
聴いていただく機会も増えま
した。3月には東日本大震災
で市内に避難している方の前
で演奏会をさせていただきま
した。

今度は元気を届けたい

「くまびよ隊」での活動はこ
れまで本当にたくさんの方々
に支えられながら行つてきま
した。私が元気に楽しく子育
てできているのは仲間や演奏
を聴きにきてくれた皆さん、
そして何より子どもと家族の
おかげです。今度はブラスバ
ンドを通して皆さんに元気を
届けたいです。

6月12日(日)には、熊
谷市民音楽祭に参加予
定です。

くまびよ隊のホーム
ページでは、メンバ
ー募集やイベントの告知
をしていますのでご覧
いただき、ぜひ聴きに
きてください。

くまびよ隊ホームページ
<http://kumapiyotai.com/>

発行日 平成23年6月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
048-524-1111(内線2006) FAX 048-520-2670

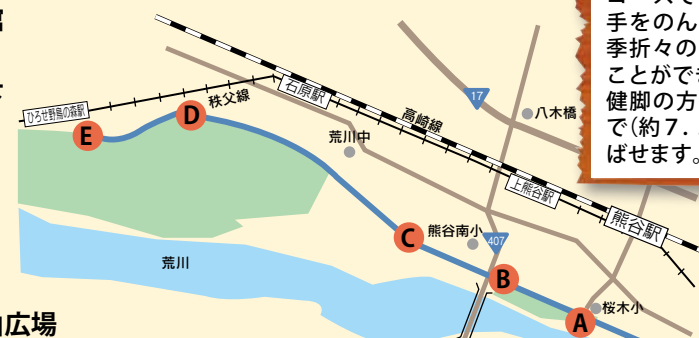
さあ、歩こう！
くまがや

市民の皆さんに、健康増進や市内の新たな発見をしていただく
ために、市内に設定したウォーキングコースを毎月ご紹介します。
◆スポーツ振興課 ☎内線 391

第2回 荒川堤大麻生コース

歩く距離 約3.3 km

- A 市民体育館 (600 m)
- B 荒川大橋下 (1,000 m)
- C 見晴公園 (1,200 m)
- D 赤城公園 (500 m)
- E 大麻生自由広場



コースの概要
市民体育館から、大
麻生自由広場までの
コースです。荒川の土
手をのんびり歩き、四
季折々の自然を楽しむ
ことができます。また、
健脚の方は、明戸駅ま
で(約7.5 km)足を延
ばせます。



ウォーキングの
ポイント
・歩幅は、肩幅の1.5倍が目安です。
・自分のペースを心がけましょう。

コース図は、スポーツ振興課および各公民館に設置して
あるほか、市ホームページにも掲載しています。

人口と世帯 ●平成23年5月1日現在(対前月比)
■人口 205,063人(+562) 男 102,638人(+564) 女 102,425人(-2) ■世帯 82,676(+639)

「市報くまがや」6月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。 平成23年(2011)6月 市報くまがや 32

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所行政センター・出張所公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>